

■ きよす あしがるバスの利用状況

経緯	
<p>■ これまでの経緯</p> <p>○実証実験・実証運行の目的</p> <p>市民が市役所各庁舎や各種公共施設を利用するための交通手段として、また、高齢者や主婦層などの日中における市内移動の利便性を高め、もって市としての一体感を醸成するため、国の補助制度を活用して平成18年10月10日から平成20年3月末日までの間、コミュニティバス実証実験・実証運行を実施。</p> <p>その後、利用状況、JR枇杷島駅周辺整備による交通体系の再整備などの観点から、実証実験・実証運行を平成22年3月までの2年度間延長。</p> <p>更に、春日町との合併（平成21年10月1日）により、平成24年3月まで実証実験・実証運行を行う計画。</p>	
平成18年 4月	市内の公共交通に関するアンケート調査
6月	運行経費を補正予算計上
6月28日	第1回地域公共交通会議
10月10日	実証実験・実証運行開始
平成19年 4月 9日	ルート、ダイヤ改正
5月11日	利用者1万人突破（運行開始後 208日）
10月19日	利用者2万人突破（1万人突破後160日）
平成20年 3月28日	利用者3万人突破（2万人突破後155日）
4月 1日	実証実験・実証運行を2年度間（22年3月まで）延長
6月 1日	ルート、ダイヤ改正
8月 3日	利用者4万人突破（3万人突破後128日）
12月 6日	利用者5万人突破（4万人突破後125日）
平成21年 4月19日	利用者6万人突破（5万人突破後128日）
8月22日	利用者7万人突破（6万人突破後124日）
10月 1日	ルート、ダイヤ改正
平成22年 1月 9日	利用者8万人突破（7万人突破後132日）
5月19日	利用者9万人突破（8万人突破後130日）
9月15日	利用者10万人突破（9万人突破後119日）

現在の運行概要（平成21年10月1日から）		
<p>■ 運行概要</p> <p>1 趣旨</p> <p>清須市と春日町との合併に伴い、あしがるバスの運行体制を見直し、新たに実証実験・実証運行として実施。</p> <p>2 見直しの方向性（平成20年度における地域公共交通会議での確認事項）</p> <p>○春日町内での路線確保 公共交通空白を解消すべく現清須市と同水準での運行を目指す。その際、住民アンケート調査で、春日町住民は、買物先は圧倒的にヨシヅヤ清洲店が多く、利用駅はJR清洲駅が主であることがわかっている。行先の希望でもこの2つが主であることから、路線の軸として考える。</p> <p>○冗長な路線の改善 2路線から3路線に増やし、各路線の経路を単純化する。そのために、1両増車する。</p> <p>3 路線の内容</p> <p>オレンジルート：清須市内の主に北側の区域を運行 グリーンルート：清須市内の主に南側の区域を運行 サクラルート：清須市内の主に中央の区域及び春日の区域</p> <p>4 公共施設への交通利便性の向上</p> <p>○清洲市民センター 施設正面玄関前にバスのりばを設置。（改正前は、施設南方向150mの位置）</p> <p>○清洲総合福祉センター 3ルートとも乗り入れ。（改正前は、1ルートのみ）</p> <p>○旧春日町の公共施設 夢広場はるひ（美術館、夢の森公園）、春日支所、春日公民館（600席のホール有）に乗り入れ。</p>		
【運行概要】		
オレンジルート	グリーンルート	サクラルート
清須市内の主に北側の区域を運行	清須市内の主に南側の区域を運行	清須市内の主に中央の区域及び春日の区域
8便/日 約60分	8便/日 約55分	5便/日 清須市内約20分 春日域内約60分
乗車定員 12人（運転手は除く）	乗車定員 12人（運転手は除く）	乗車定員 8人（運転手は除く） ※車両は、借上げ。
<p>利用料金：1乗車100円（未就学児は無料）。乗り継ぎ券を発行（当日のみ有効）。</p> <p>運行日数：毎日運行。ただし、年末年始（12/29～1/3）は運休。</p> <p>運行時間帯：朝8時台から夕方6時台まで</p> <p>運行形態：市が事業主体となり、民間事業者を運行主体とした運行。</p>		

利用概要

■ あしがるバス利用概要

○報告期間

平成21年10月1日（木）から平成22年12月28日（火）までの447日間

○総乗客数

	オレンジ 市域の北部	グリーン 市域の南部	サクラ 市域の中央 春日地域	合計	オレンジ(前年同月)			グリーン(前年同月)			サクラ(前年同月)			合計	増減数
					利用者数	増減数	増減率	利用者数	増減数	増減率	利用者数	増減数	増減率		
21年10月	707	947	673	2,327	1,051	▲ 344	▲ 32.7	1,284	▲ 337	▲ 26.2			2,335	▲ 8	
11月	686	819	666	2,171	1,027	▲ 341	▲ 33.2	1,204	▲ 385	▲ 32.0			2,231	▲ 60	
12月	603	789	581	1,973	991	▲ 388	▲ 39.2	1,201	▲ 412	▲ 34.3			2,192	▲ 219	
22年 1月	610	726	562	1,898	883	▲ 273	▲ 30.9	1,045	▲ 319	▲ 30.5			1,928	▲ 30	
2月	617	830	577	2,024	1,047	▲ 430	▲ 41.1	1,195	▲ 365	▲ 30.5			2,242	▲ 218	
3月	864	1,023	726	2,613	1,175	▲ 311	▲ 26.5	1,338	▲ 315	▲ 23.5			2,513	100	
4月	860	867	705	2,432	1,168	▲ 308	▲ 26.4	1,313	▲ 446	▲ 34.0			2,481	▲ 49	
5月	833	836	686	2,355	1,079	▲ 246	▲ 22.8	1,185	▲ 349	▲ 29.5			2,264	91	
6月	779	930	733	2,442	1,123	▲ 344	▲ 30.6	1,252	▲ 322	▲ 25.7			2,375	67	
7月	858	1,034	796	2,688	1,173	▲ 315	▲ 26.9	1,367	▲ 333	▲ 24.4			2,540	148	
8月	906	985	854	2,745	1,233	▲ 327	▲ 26.5	1,472	▲ 487	▲ 33.1			2,705	40	
9月	793	907	683	2,383	1,046	▲ 253	▲ 24.2	1,223	▲ 316	▲ 25.8			2,269	114	
10月	818	955	729	2,502	707	111	15.7	947	8	0.8	673	34	5.1	2,327	175
11月	804	973	645	2,422	686	118	17.2	819	154	18.8	666	20	3.0	2,171	251
12月	600	848	545	1,993	603	▲ 3	▲ 0.5	789	59	7.5	581	22	3.8	1,973	20
合計	11,338	13,469	10,161	34,968	14,992			17,634			1,920		34,546	422	
平均	756	898	677	1,589	999			1,176			640		1,570	19	

乗継券 発行合計	34	39	80	153
-------------	----	----	----	-----

利用概要

〔総評〕

○春日地区をカバーしている路線は、サクラルートのみ

春日地区の利用者は、1月あたり307人

(春日地区のバス停を往路復路の何れかで利用した者)

○サクラルートの内、春日地区利用者の割合は、45.4%

○3ルートのうち、旧清須市内の利用者は、1月あたり2,023人

(前年同時期2,175人、増減数 ▲152人)

○オレンジ、グリーンの利用者のうち、一部の利用者がサクラルートを利用するようになり、旧清須市内の利用者数は減少傾向。

○清須市と春日町との人口比率(87:13)と比べて、利用者の比率も87:13と人口比率と同様の利用状況。

○乗継券の発行枚数

	オレンジ 市域の北部	グリーン 市域の南部	サクラ 市域の中央 春日地域	合計
21年10月～22年12月	34	39	80	153

○タクシー配車状況

	オレンジ 市域の北部	グリーン 市域の南部	サクラ 市域の中央 春日地域	合計
21年10月～22年12月	12	8	1	21

利用状況

■ バスのりば別の利用状況

□ 報告期間

平成21年10月1日（木）から平成22年12月28日（火）までの447日間

※ルート、ダイヤ改正後の状況

オレンジルートは、主に市域の北側をカバーしている。

〔主な経由地〕

- (施設) … 西枇杷島庁舎、創造センター、さわやかプラザ
西枇杷島福祉センター、市役所本庁舎、新川福祉センター
カルチバ新川、清洲市民センター・清洲城、清洲庁舎
清洲総合福祉センター

- (駅) … JR枇杷島駅東口、JR枇杷島駅西口
名鉄下小田井駅、二ツ杵駅東
城北線尾張星の宮駅

〔傾向〕

□ 西行き

乗車では、西枇杷島福祉センター、尾張新川郵便局東、西枇杷島庁舎、芳野公園西、尾張星の宮駅が多い。

降車では、ヨシヅヤ清洲店が特に多く、清洲総合福祉センター、清洲庁舎、カルチバ新川、尾張新川郵便局東が多い。

□ 東行き

乗車では、ヨシヅヤ清洲店が特に多く、清洲総合福祉センター、カルチバ新川、キリンビアパーク名古屋、尾張新川郵便局東が多い。

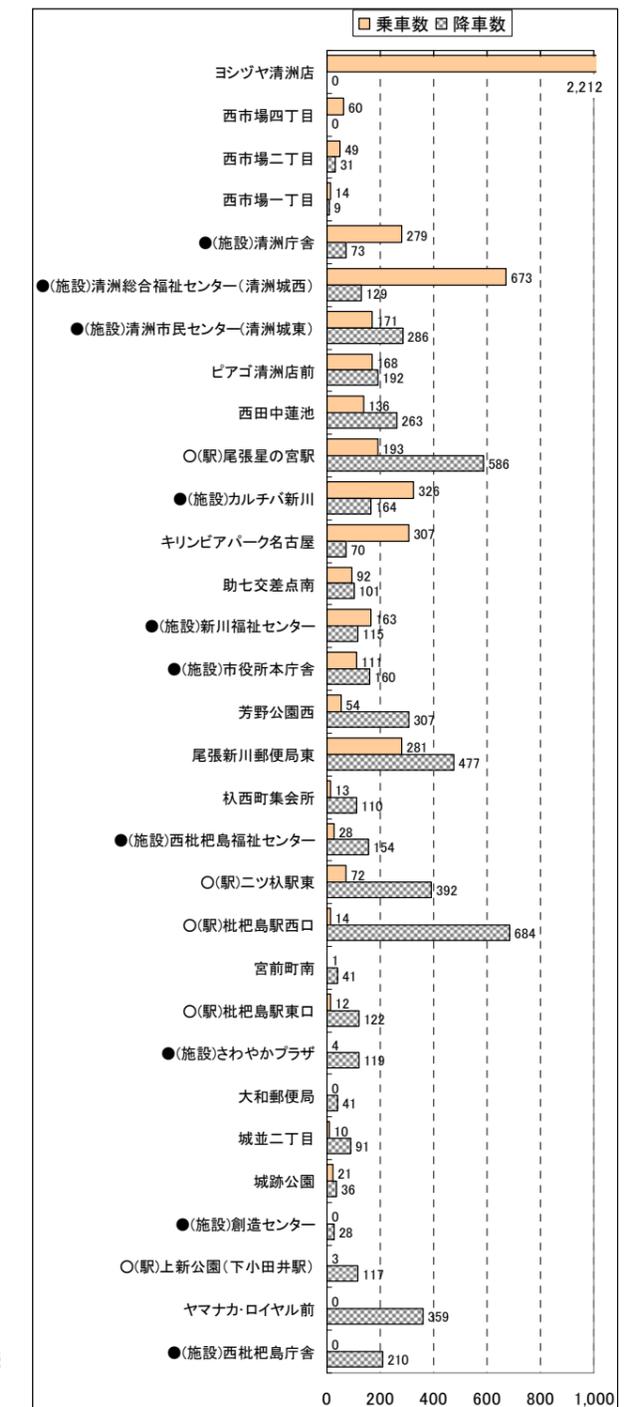
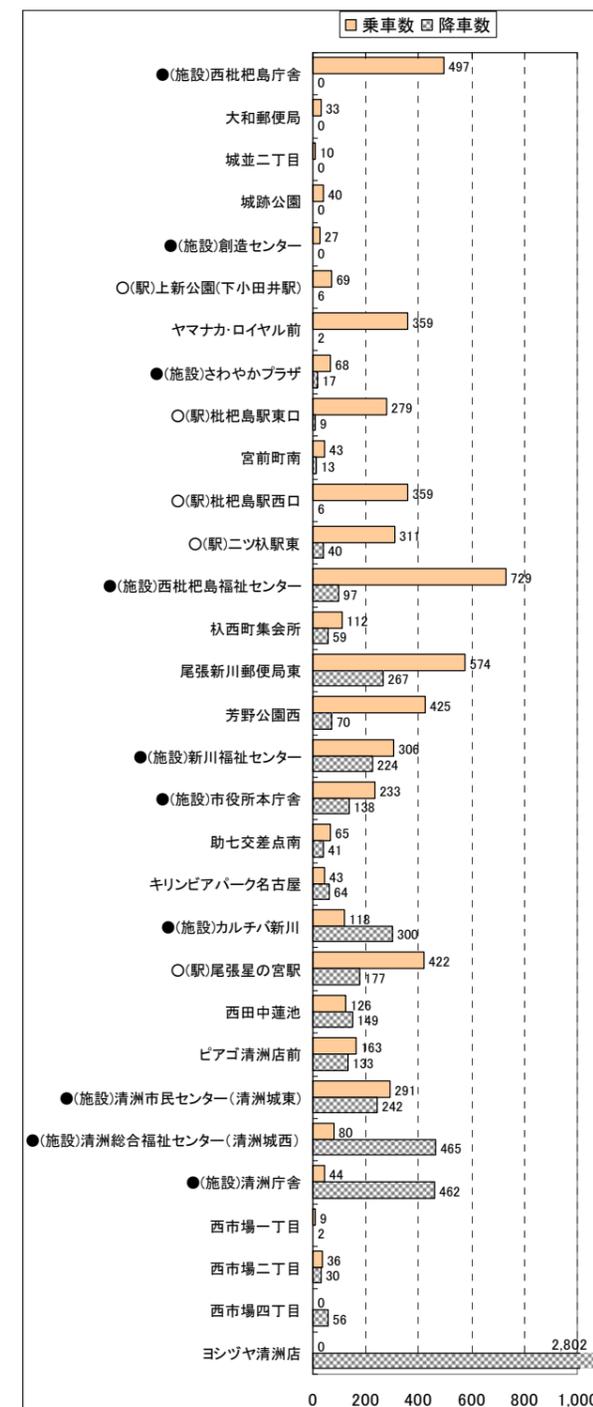
降車では、枇杷島駅西口、尾張星の宮駅、尾張新川郵便局東、二ツ杵駅東、ヤマナカ・ロイヤル前が多い。

参考資料

〔図1 バスのりば別の総利用者数の状況〕（平成21年10月1日ルート、ダイヤ改正後）

□ オレンジルート（西行き：5,871人）

□ オレンジルート（東行き：5,467人）



利用状況

グリーンルートは、主に市域の南側をカバーしている。

〔主な経由地〕

●(施設) … 西枇杷島庁舎、市役所本庁舎、清洲庁舎
清洲総合福祉センター・清洲城

○(駅) … JR 枇杷島駅西口、名鉄須ヶ口駅、新清洲駅南口

〔傾向〕

□西行き

乗車では、県営新川住宅、西枇杷島庁舎、新清洲駅南口、枇杷島駅西口、中河原公民館が多い。

降車では、ヨシツヤ清洲店が特に多く、須ヶ口駅、清洲総合福祉センター、清洲庁舎、県営新川住宅が多い。

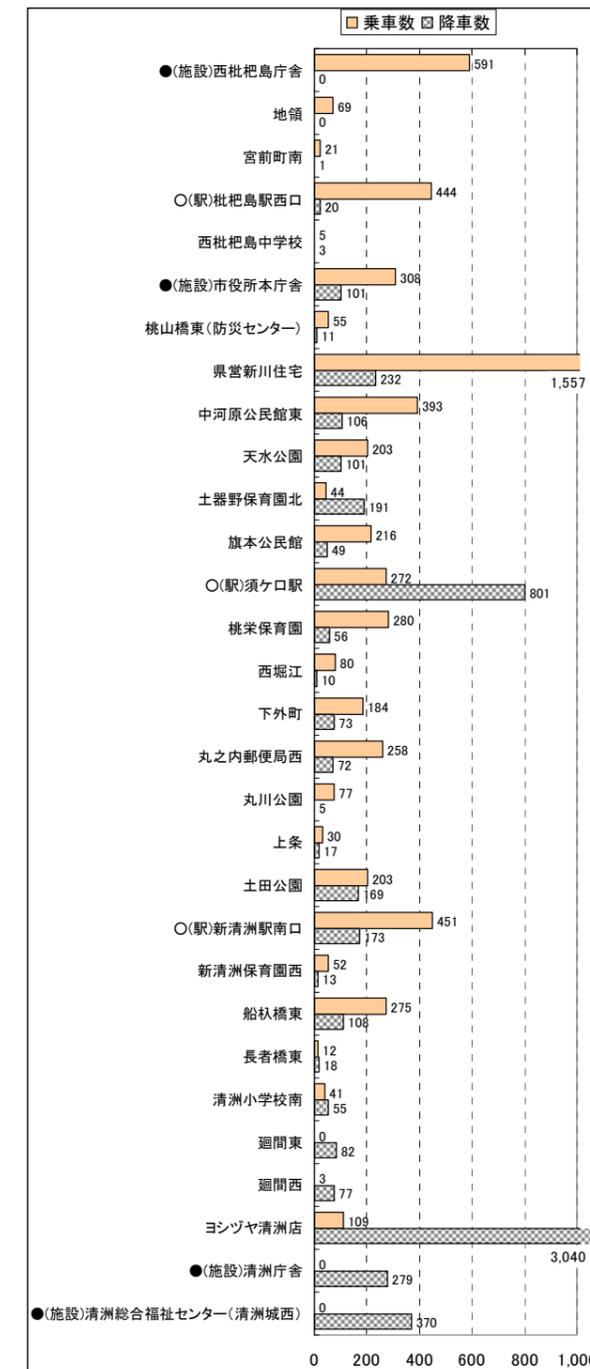
□東行き

乗車では、ヨシツヤ清洲店が特に多く、須ヶ口駅、県営新川住宅、清洲総合福祉センター、中河原公民館東が多い。

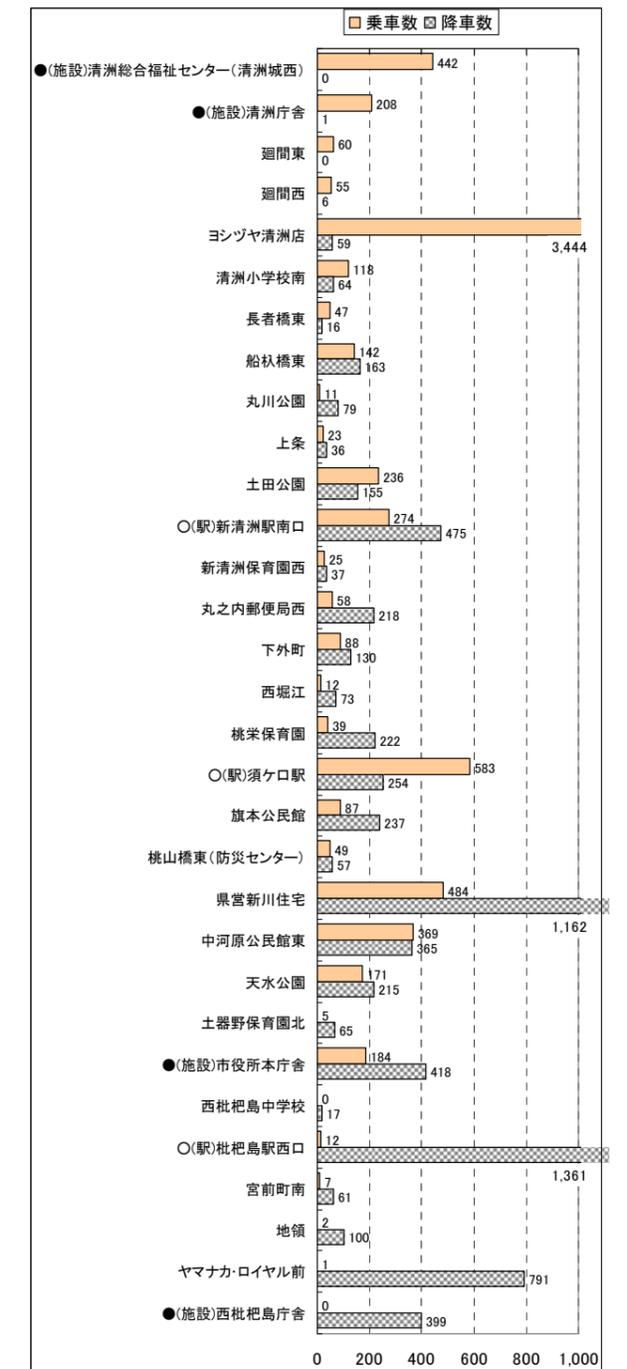
降車では、枇杷島駅西口、県営新川住宅、ヤマナカ・ロイヤル前、新清洲駅南口、市役所本庁舎が多い。

参考資料

□グリーンルート（西行き：6,233人）



□グリーンルート（東行き：7,236人）



利用状況

サクラルートは、主に市域の中央及び春日地区をカバーしている。

〔主な経由地〕

●(施設) … 新川福祉センター、市役所本庁舎、アルコ清洲、清洲庁舎
清洲総合福祉センター・清洲城、夢広場はるひ
春日支所、春日公民館

○(駅) … JR 枇杷島駅西口、清洲駅

〔傾向〕

□清洲地区（西行き）

乗車では、枇杷島駅西口、キシ清須店が多い。

降車では、ヨシヅヤ清洲店が特に多い。

□清洲地区（東行き）

乗車では、ヨシヅヤ清洲店が特に多い。

降車では、枇杷島駅西口、花園公園、新川福祉センターが多い。

□春日地区

乗車では、ヨシヅヤ清洲店が特に多く、JR 清洲駅、春日公民館が多い。

降車では、ヨシヅヤ清洲店が特に多く、JR 清洲駅、夢広場はるひ
春日公民館が多い。

傾向としては、清須区域と春日区域の行き来があまり無く、ヨシヅヤ清洲店を起
点に乗降客が2分する傾向にある。

全体の傾向として、商業施設、鉄道駅に対する需要が多い。

参考資料

□サクラルート（10,161人）

